

大阪市北区の吸入指導統一化に向けた試み

北野病院
薬剤部長 尾上雅英

喘息や COPD（慢性閉塞性肺疾患）の薬物治療の柱は、ステロイド薬や気管支拡張薬の吸入療法です。近年、多くの吸入デバイスが登場し、使用方法が異なるため正しく吸入できていないことがあります。

そこで、2006 年 9 月より、北野病院薬剤部・呼吸器センターと大阪市北区北薬剤師会が協同で、「吸入指導ネットワーク」を設立しました。吸入を必要としている患者さんに対し、どの保険薬局へ行っても統一した正しい吸入指導を継続して受けられるシステムを目指しています。

今回この取り組みを済生会中津病院・住友病院と協力し、エリア拡大を目指すことになりました。これまで吸入指導の依頼と報告は吸入手帳を介して行ってきましたが、今回のエリア拡大に伴い、吸入指導依頼書・吸入指導実施報告書・情報提供書を介して行います。吸入指導を効率よく行えるよう吸入薬チェックリストも添付します。

この新しい運用を 2017 年 6 月より開始しています。